

南海トラフの地震対策は

問 南海トラフの地震発生の可能性が高まった場合、気象庁が臨時の情報を発表するが、避難勧告等を出す検討をされているか。

答 臨時情報が発表された場合、実際にいつ地震が発生するのか、また、避難生活がどれくらい続くのか、不確かなため、どういった条件で発令が可能か検討を進めている。

袋井駅南まちづくり事業は

問 商業地区の事業推進について大幅に遅れている感があるが、商業施設の誘致の今後の見通しは。

答 現在、業務代行予定者が建物の大きさや配置計画などの調整を行っている。出店業者の公表は、2020年2月頃と伺っている。

バス路線の廃止に伴う対応は

問 遠州鉄道(株)が運行する法多線廃止に伴う一般利用者への対応は。

答 デマンドタクシーの導入を代替案として考えている。具体的な運行方法は、現在のバス路線の時刻表に基づき、予約があった場合のみ、決められた路線の既存バス停留所で昇降する方式での運行を考えている。



法多山バス停

教室へのエアコン設置の課題は

問 市長は来年夏までに、全教室に設置する方針を示したが、国の予算の確保、調査設計にも時間が必要で、単年度の導入には困難が予測される。整備方針、優先順位をどう考えているか。

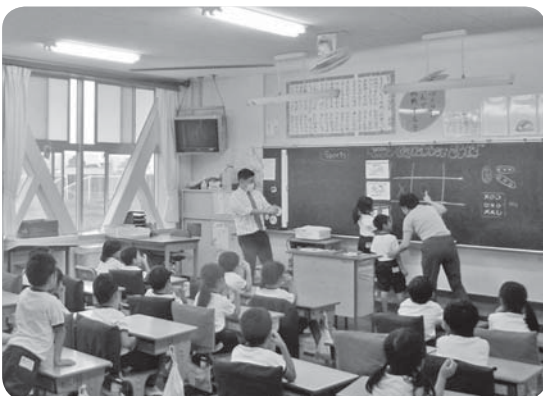
答 児童及び生徒の健康面から、全校の全教室を一齐に整備することを目標にしている。使用頻度や時間、財政的負担等を勘案し、まずは幼稚園の保育室、小・中学校の普通教室を優先的に整備していきたい。

問 整備に向けての課題は。

答 浅羽中学校は2020年度から2年間かけ大規模改修工事を予定しており、仮設校舎及び改修後の北校舎、新校舎にエアコンを整備する。山名小学校のオープン教室は間仕切りを設置するなどして対応したい。

問 年々投資的経費へ回せる額が少なくなっている中で、財源の手当てをどうするのか。

答 国の補助制度を活用していくため、9月の臨時国会での補正予算の状況を注視しつつ、事業費の算出と設計を並行して行いながら直接発注方式を基本に進めていく。国の補助が受けられない場合は、リース方式または、普通交付税措置のある有利な地方債を活用した単独費での整備も視野に入れながら取り組みたい。



扇風機の設置されている教室